

小学校第5学年 社会 調査票

() 組 () 番 氏名 ()

- 1** あきこさんたちは「私たちが使う水の流れ」について、資料を使って話し合いました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料 わたしたちが使う水の流れ

調査時にはここにわたしたちが使う水の流れのイラストが入る

- (1) 資料の中のAのしせつ名を、下のアからウの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、そのしせつ名を選んだわけを、資料から考えて、□の中に書きましょう。

ア 輪中 イ じゃう水場 ウ 下水しより場

しせつ名	
------	--

わけ	
----	--

- (2) あきこさんは、ダムについての説明を考えています。資料の中のダムにはどのような働きがあるのか、その説明として正しい内容を下のアからエの中から2つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

ア 火力発電に利用されることもあります イ 川の水量を調節しています
ウ 水力発電に利用されることもあります エ 緑のダムとよばれています

小社-1

- 2** あきこさんたちは、事故や事件からくらしを守る仕事について調べ、わたしたちにもできることを話し合いました。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

(1) 資料1の中の女の子が事故を見て110番に通報しました。119番通報はしていないのに、救急車も事故の現場にきました。資料1から分かることを使って、救急車が来たわけを□の中に書きましょう。

資料1 110番通報のしくみ

調査時にはここに110番通報のしくみのイラストが入る

- (2) あきこさんたちは、地域のあぶない場所を調べて資料2の安全マップを作っています。あきこさんは、Aの道路について説明カードに書く内容を考えています。あなたなら、このカードにどのような説明を書きますか。資料2と資料3から分かることを使って、□の中に書きましょう。

資料2 安全マップ

調査時にはここに安全マップが入る

資料3 Aの道路の様子

調査時にはここに狭い道路の写真が入る

小社-2

(1) けんたさんは、越前ぜきについて、資料1から資料4を調べてカードにまとめました。下のアとイのカードは、それぞれどの資料とどの資料から分かったかをまとめました。下の□の中に資料の番号を書きましょう。
ただし、同じ番号を2回使ってもかまいません。

ア 岩手山のふもとを水源とする長さ36kmの越前ぜきがつくれ、栗石川の北がはわの場所に、380haの新しい水田がつくられた。

と

イ 篠木では、近くを流れる栗石川の流が低かったために、越前ぜきができる前は水がなくてあれた土地が広がっていた。

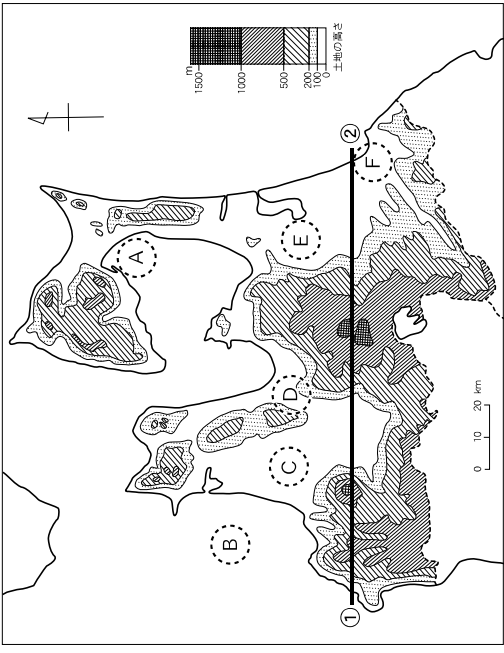
と

(2) けんたさんは、資料2と資料4の2つの資料から分かることをまとめ、(1)のアとイのように、ウのカードをつくることにしました。あなたなら、どのような文でまとめるといいか□の中に書きましょう。

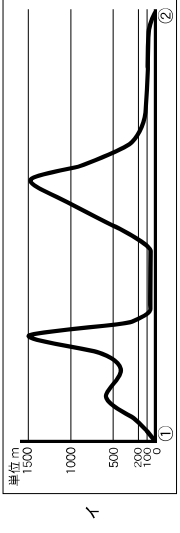
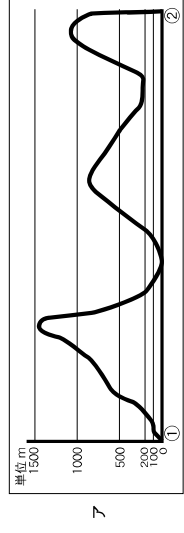
小社-5

5 こうたさんは、青森県の地形や気候をいかした遊業の様子について調べ、まとめました。資料を見て、次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

資料 青森県の地形図



(1) 資料の中の①-②に対応した断面図は、下の図のアとイのどちらですか。その記号を、□の中に書きましょう。



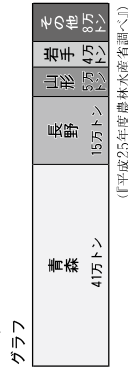
□

小社-6

(2) こうたさんは、青森県の特産物と地形の関係をカードにまとめました。下のアからウまでのカードに書かれていることは、資料のAからFまでの場所のことを表していますか。1つずつ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

ア	青森県の西側の広い平野に水田が広がっていて、米の生産がさかんです。「青森の稲穂」という新品種もつくられています。	イ	水はけのよい田舎で、りんごの生産がさかんです。
ウ	太平洋に面していて、漁業がさかんで、いかやさばなどがかたさかん水あげされます。それら加工する工場もあります。		

(3) こうたさんは、上のアからウまでのカードに書かれている特産物のうち、いずれかの生産量について調べました。下のグラフはどの特産物の生産量ですか。その特産物の名前を、□の中に書きましょう。



6 あやなさんは、青森県の交通の広がりの様子を調べています。はじめに、鉄道の広がりの様子を地図にまとめています。下の資料を見て、次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

資料 あやなさんがまとめている地図

(1) 大森線が通っているのは、下北半島と津軽半島のどちらでしようか。□の中に書きましょう。

(2) 東北新幹線や八戸線となりがっている青森県となりの県の名前を、□の中に書きましょう。

(3) 青森県の交通の広がりの様子の地図を完成させるために、鉄道のほかに、どのような交通の広がりを調べたらよいでしょうか。あなたが考えたものを、2つ□の中に書きましょう。

小社一7

7 ひろろさんたちは、資料1から資料3を使って、日本の国土の特色を説明しています。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料1 日本の地形の様子

調査時にはここに山地と平地を塗り分けた日本地図が入る

資料2 国土の山地と平地などのわりあい (国土の面積を100としたときの地形ごとの広さ)

調査時にはここに山地と平地を百マスで塗り分けた図が入る

資料3 世界の主な川の長さとかたむき (2010年日本統計年鑑より)

調査時にはここに世界の主な川の長さとかたむきの図が入る

(農林水産省関東農政局「こまちゃんとの冒険」より)

(1) ひろろさんは、資料1と資料2から分かることを使って、日本の山地や平地の広さを説明しています。①には当てはまる文を、7には当てはまる数字をそれぞれ□の中に書きましょう。

ひろろ

日本の山地や平地の広さをくらべると、①です。
くわしく言うと、山地の面積は平地の面積の約(7)倍あります。

①

7

(2) まさこさんは、資料1と資料3をもとに日本の川の長さや流れ方を説明しています。④には当てはまる地形を、②には当てはまる日本の川の長さや流れ方をそれぞれ□の中に書きましょう。

まさこ

日本は国土のはばがせまく、(④) が海岸の近くまでまよまよしているところが多いため、外国の川と比べると日本の川は②です。

④

②

小社一8

8 あきこさんたちは、日本の農産物の生産額や産地について調べています。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

(1) 資料1を見て、2010年の生産額が一番多いのは、どの農産物でしょうか。
□の中に書きましょう。

□

(2) あなたは、資料1を見て、どんな疑問を見つけましたか。「なぜ」からはじまって、「だろうか?」で終わるように、あなたが疑問に思ったことを、「生産額」という言葉を使って□の中に書きましょう。

なぜ、
□
だろうか?

(3) あきこさんたちは、地方ごとに米の収穫量を資料2のようにまとめて、話し合っています。□の中に当てはまる文を書きましょう。

あきこ
東北地方が一番多いね。
どうしてかしら?

けんた
東北地方で米づくりがさかんなのは、前に学習した「わたしたちの国土」と関係がありそうだね。

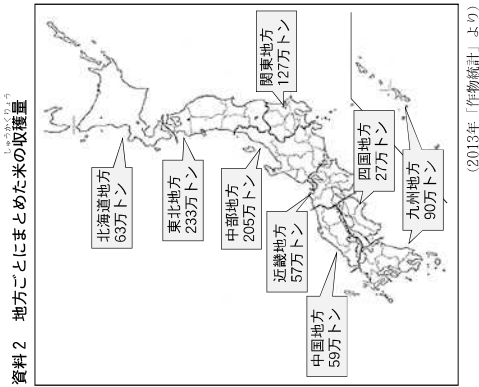
あきこ
わたしは、山地や平野、川などの地形に関係があると思うわ。

けんた
地形の他に、□にも関係があると思うよ。

□

資料1 日本の主な農産物の生産額の変化
調査時にはここに日本の農産物の生産額の変化のグラフが入る

(生産農業所得統計)はかより



小社-9

9 こうじさんたちは、資料1と資料2を見くらべながら話し合っています。次の(1)と(2)の問題に答えましょう。

資料1 世界地図

資料2 地球儀

こうじ
世界には大きな海がいくつかあって、日本はAの海に面しているよね。それに、世界には大陸もいくつかあるよね。

たかし
日本と同じ経線上にある南半球の大陸は、オーストラリア大陸と南極大陸だね。

ちえこ
あれ?でも、世界地図と地球儀を見くらべてみると、オーストラリア大陸はほとんど同じ形だけれど、南極大陸はぜんぜんちがう形だわ。世界地図と地球儀ではどちらが正しく形を表しているのかしら。

先生
地球儀の方が正しいんですよ。そのわけは、地球儀は、地図とちがって地球を①した形になっているからです。

(1) こうじさんは、世界には大きな海がいくつかあると話しています。資料1のBからDまでの海の名前を□から選んでそれぞれ□の中に書きましょう。ただし、同じ海の名前を何回使ってもいいです。

- 日本海 インド洋 大西洋 太平洋

B C D

(2) 先生は、地球儀が南極大陸の形を正しく表しているわけを説明しています。①に当てはまる言葉は□の中に書きましょう。

□

小社-10